

「いじめ」から考える子どもの現在！ …国際条約、法、政治、地域、情報ツールから迫る

いま、日本において「子どもは生きやすくなっている」だろうか？犯罪や非行への厳罰化が叫ばれる一方で、日々の暮らしや学びの中で子どもはいきいきと自分を育てているだろうか。大人社会は、子どものイマを支えているのだろうか。いじめ問題をきっかけに、日本の子どもの実情を大学生の目線、多様な観点から一緒に考えてみませんか。

市民の方の参加を歓迎いたします。（予約不要・参加費無料）

日 時 2019年1月12日（土） 13:30～16:00

場 所 KPCキャンパス B号館 B203講義室

基調講演 吉永 省三 氏（千里金蘭大学教授）

構成劇・動画で考える 「いじめ」をみつめる（シナリオ 3回生）

調査報告・提起

I 「いじめ」はなぜ問題か!? 多様なアプローチから考える

＊子どもの権利条約、知ってる？ 事件・事例から見えてくることは？
政府や地域・学校対応は実を結ぶ？

II 子どもをとりまく世界の実情から考える

＊子ども若者にとってのいじめ自殺、虐待、SNS を知ることから！

質疑応答

講師紹介：吉永 省三 氏

千里金蘭大学教授

日本で最初の「子どもオンブズマン」制度（川西市）の創始者であり、
いじめ問題第三者委員会経験者でもある。

子どもの権利条約総合研究所運営委員

主催 神戸学院大学法学部（担当 佐々木光明）

問い合わせ先 法学部長補佐室 TEL:078-974-4543